

平成31年東海地区新年互礼会レポート

平成最後となる名古屋工業会東海地区新年互礼会が、平成31年1月5日（土）正午から大学会館で開催されたので、計測会に関連する部分を主に報告いたします。

全出席者は約150名で盛会だったという声を皆さんからいただきました。昨年度から名古屋支部運営を担当するのは計測会の大鑄（F49）、米谷（F60）、木村（F62）、内藤（F①）の諸先生方。当日は計測会の学生5名にも受付から司会進行及びカメラマンまで手伝ってもらった。

式次第は昨年とほぼ同じ。大鑄先生（F49）の司会進行（写真1）で始まり、主催者を代表して名古屋支部長の大鹿（F47）から挨拶（写真2）させていただいた。ポイントは2点。名古屋支部のあるべき姿検討プロジェクトを昨年4月に立ち上げたこととお正月箱根駅伝の話題。

「**襷をチームワークでつないで総合力発揮を!**」と吠えた（笑）。

名古屋支部は単科会同士及び学内外の総合力が大切であり、来年度は支部運営という襷を計測会から経友会へつなぐという意味だとまで、皆さんにはわかってもらえなかったかもしれません。

加川理事長の来賓挨拶の次に挨拶された鶴飼学長（F52）は「名古屋工業大学と名古屋工業会と一緒にやってみましょう!」ということを強調された（写真3）。

乾杯の音頭をとっていただいたのは、7回目の亥年を迎えられた牛込相談役（Y33）です。（写真4）相談役から「ワールドテックの寺倉さん（F50）が大変よい仕事をやっておられる」と紹介されたのは、計測会として特筆すべきことでした。

続いて単科会ごとの記念撮影。計測会は工業会受賞のPARK君を含めて計15名の参加者でした。（写真5）

恒例となった餅つきと豪華景品の当たるくじ引きで盛り上がり、学科斉唱。

鶴桜会会長の武藤先生に、挨拶をしていただいた。昨年の計測会総会の講演者である中園真理さんの紹介と、「鶴桜会をきっかけに女性の同窓会行事への参加が増えていくことを期待したい」ということでした。（写真6）

中締めのご挨拶の内藤常務理事からは東海地区新年互礼会の意義について改めて触れていただいた。

計測会の皆さまから名古屋支部の大きな行事の一つである新年互礼会に、**多大なるご支援ご協力をいただきました。関係者の皆さまに心から感謝いたします。有難うございました。**今回は残念ながら都合で欠席となった守田会長にもバックアップしていただきました。

名古屋支部“チーム計測”が花道を飾れますように（笑）、任期終了まで応援をよろしくお願いたします。

記：大鹿秀正（F47）

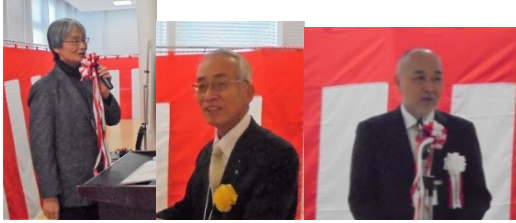


写真 1) 2) 3)



4)



写真 5)



6)